

日本の遺伝子組換え作物の輸入推定量（2018）

作物	日本への主要輸出国 ※カッコ内の数字は各国における2017年のGM栽培比率	作物の 総輸入量 (単位：千トン) (A)	うちGM作物 の推定輸入量 (単位：千トン) (B)	GM作物 推定輸入比率 (C)
トウモロコシ	米国（93%）、ブラジル（88%）、 南アフリカ共和国（85%）	15,802	14,558	92%
ダイズ	米国（94%）、ブラジル（97%）、 カナダ（85%）	3,236	3,003	93%
ナタネ	カナダ（95%）、オーストラリア （24%）	2,337	2,082	89%
ワタ （採油用）	米国（96%）、ブラジル（84%）、 オーストラリア（100%）	103	95	92%
	合計	21,479	19,738	92%

(B): 各国からの輸入量に、それぞれの輸出国での2017年の遺伝子組換え作物の栽培比率を掛け、足し合わせた数量

(C): 遺伝子組換え作物の推定輸入量(B)を、その作物の総輸入量(A)で割って得られた比率

日本のダイズ自給率は7%、トウモロコシとナタネの自給率は0%